

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町



第202号

議会だより



令和5年 12月定例会

- ◆ 令和4年度決算特別委員会…P4・5
- ◆ 議案概要等・審議結果…P2・7
- ◆ 議会報告会…P18・19

職員等の給与改正と経済対策

初日に職員等給与改正、最終日に経済対策3事業が上程され即日採決されました。

12月定例会は11月28日から12月12日までの15日間開催され、報告2件、議案18件、意見書2件が審議されました。休会中に決算特別委員会で審議された昨年度諸決算がすべて認定されたほか、町長提出議案はすべてが原案どおり可決されました。

人事院勧告をうけて地方公務員である町職員等も給与が改正されます。

問 アップ率を若年層に厚くすることだが級別の上昇率はどうか。

答 1級が4・67%、2級で3・0%、3級で1・51%、4級で0・71%、5級以上が約0・3%になる。

問 今回の給与等の改正で一般職員の給与等はどう変わるか。

答 一般職の平均を見ると年間10万6千円の増額で年額555万円になる。

国の経済対策を受けて、緊急支援給付、商業活性化、学校給食

人事院勧告をうけて地方公務員である町職員等も給与が改正されます。

問 アップ率を若年層に厚くすることだが級別の上昇率はどうか。

答 1級が4・67%、2級で3・0%、3級で1・51%、4級で0・71%、5級以上が約0・3%になる。

問 今回の給与等の改正で一般職員の給与等はどう変わるか。

答 一般職の平均を見ると年間10万6千円の増額で年額555万円になる。

国の経済対策を受けて、緊急支援給付、商業活性化、学校給食

人事院勧告をうけて地方公務員である町職員等も給与が改正されます。

問 アップ率を若年層に厚くすることだが級別の上昇率はどうか。

答 1級が4・67%、2級で3・0%、3級で1・51%、4級で0・71%、5級以上が約0・3%になる。

問 今回の給与等の改正で一般職員の給与等はどう変わるか。

答 一般職の平均を見ると年間10万6千円の増額で年額555万円になる。

国の経済対策を受けて、緊急支援給付、商業活性化、学校給食

人事院勧告をうけて地方公務員である町職員等も給与が改正されます。

問 アップ率を若年層に厚くすることだが級別の上昇率はどうか。

答 1級が4・67%、2級で3・0%、3級で1・51%、4級で0・71%、5級以上が約0・3%になる。

問 今回の給与等の改正で一般職員の給与等はどう変わるか。

答 一般職の平均を見ると年間10万6千円の増額で年額555万円になる。

国の経済対策を受けて、緊急支援給付、商業活性化、学校給食

新年のごあいさつ

伊奈町議会議長 佐藤弘一

この度の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。平素は、伊奈町議会に特段のご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

議会としましては、町民の皆様のお暮らしの安全と安心を守るため、さまざまな課題の解決に取り組んでまいります。

結びに、本年が、町民の皆様にとって輝かしい一年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



公職選挙法の規定により、選挙区内に年賀状等のあいさつ状を出すことは禁じられています。議員個人としての年賀状は失礼させていただきます。

常任委員会レポート

町長提出議案を、総務建設産業常任委員会で3件（12月1日開催）、文教民生常任委員会でも6件（12月4日開催）審議しました。

総務建設産業

所管事項 一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

役場庁舎建設事業

問 継続費の各年度の内訳は。

答 令和6年度は基本設計9600万6千円、実施計画2595万7千円。

令和7年度は実施設計2億3361万3千円、新庁舎建設9億6899万8千円、施工監理1787万2千円。

令和8年度は新庁舎建設29億699万4千円、施工監理5361万6千円。

15万円。

令和10年度は庁舎建設4億8449万9千円、施工監理893万6千円、外構工事2億525万4千円、別棟工事1億8140万円、施工監理140万3千円、解体工事2190万6千円だ。

工事請負契約一部変更（第1調整池浚渫工事） 入札案件が契約変更となった経過は。

答 浚渫土の処分にかかる費用が大幅に上がった。その要因は建設資源広域利用センター（UCR）の受け入れがいったいになったため。

問 増額になるがその内訳は。

答 処分費が1㎡当たり450円が8400円になり、総額で4800万円ほど増額になる。逆に運送距離の短縮で運搬費が約2千万円減額になった。差し引き2800万円の増額になった。



浚渫作業中の第1調整池

文教民生

所管事項 町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

保育環境改善等事業

問 ICT化推進の補助内容は。

答 GPS機能つき携帯電話で、園児を万一见失った際、どこにいるか検索できる機能への補助である。

伊奈町国民健康保険条例の一部を改正する

今回の増額改定による全体の増収額は、

答 税収で8300万円の見込みである。

問 増税緩和の財源となる町の基金残高が、

一昨年の1億8000万円から681万円に大きく減った要因は。

条例

問 令和3年度に8000円の均等割の減額を行った。また加入者減の中、県に納める金額は約10億円が変わらず、納付原資の不足を今年度も基金から補填したため。

問 負担増は大きい。税率改正とともに

答 7割、5割、2割の軽減部分に対する県の補填、法定繰入れ内での一般財源からの投入増も考え、できる限り負担増を抑えての今回の決定となった。

問 一般財源からの法定外繰入を増やすとどうなるのか。

答 県の補填において、法定外繰入れをしても、まうとマイナスのペナルティが生じてしまう。



ICT化がなされた私立の保育所である伊奈ゆたか保育園

衛生費

各種がん検診の受診率

問 低下傾向の原因は。

答 子宮がん、乳がんの減少は、検診が2年に一度であること、病院受診者もいること等による。乳がんの検査機器の増については、医師会を通じて医療機関の開拓を検討したい。また、胃がん検査の受診率低下については、検査受診が一度だけという点もある。

充電式小型家電の回収ボックス

問 回収状況は。

答 6月の設置から約40kgを回収。近年、リチウムイオン電池が原因で、クリーンセンターでも2週に1回ほど発火が起きている。可燃ごみ不燃ごみに交ざって廃棄されている状況があり、火災等防止のために充電式小型家電の回収ボックスを設置した。

農林水産業費

農地流動化奨励事業

問 事業の内容は。

答 農地貸借の際に利用権の設定を行い、利用権設定部分に10アール当たり4千円を借手に支払いしたもの。農地集積、有効利用の促進が目的だ。

商工費

消費者対策事業

問 消費生活相談の内容は。

答 排水管や屋根の工事に関わる強引な営業で、高額請求に遭う被害が増加している。60歳代以上のネット販売



土木費

空き家対策

問 状況と対策は。

答 水道利用と現地調査により空き家と判定した232件にアンケート調査を行い、約6割の回答を得た。この回答を基に、今後空き家対策協議会に係る条例を上程し、令和6年度には空き家対策について計画していく。

消防費

消防団運営事業

問 運営状況は。

答 団員数は、基準74人に対し72人であるが、体制上は問題ない。

教育費

小・中学校運営事業

問 消耗品が増加しているがその対策は。

答 B U Y伊奈で、高

等の相談件数も増加傾向。さらに定期購入に関する相談が前年比の2・8倍と被害が増加中だ。

国民健康保険特別会計

一般会計繰入金

問 1億2900万円の一般会計からの繰入金は、解消の対象か。

答 解消対象となる法定外繰入は、決算補填目的、保険証の製作過年度の赤字解消等である。伊奈町ではそうした法定外繰入は行っていないので解消の対象はない。



令和4年度決算認定 議案一覧及び審議結果

議案番号等	議案名	審議結果		
町長提出議案 決算	認定第1号	令和4年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第2号	令和4年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第3号	令和4年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第4号	令和4年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第5号	令和4年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	認定
	認定第6号	令和4年度伊奈町水道事業会計決算認定について	全会一致	認定
	認定第7号	令和4年度伊奈町公共下水道事業会計決算認定について	全会一致	認定

〈12月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
補正予算	第60号 議案	令和5年度伊奈町一般会計補正予算（第5号） ・歳入歳出各4,640万3千円を追加し、補正後総額を150億1,801万6千円とする。歳入では、人事院勧告による会計年度任用職員報酬等の補助金の増額、財政調整基金からの繰入。歳出では、給与及び共済組合負担金等の増額の補正の増額。	全会一致	原案可決
	第61号 議案	令和5年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各90万円を追加し、補正後総額を各37億9,181万2千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第62号 議案	令和5年度伊奈町中部特定土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各40万円を追加し、補正後総額を各2,432万8千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第63号 議案	令和5年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各145万円を追加し、補正後総額を各28億2,944万6千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	第64号 議案	令和5年度伊奈町水道事業会計補正予算（第3号） ・水道事業費用は、営業費用を120万円増額し、水道事業費用を10億8,063万5千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額等。	全会一致	原案可決
	第65号 議案	令和5年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・下水道事業費用は、営業費用を45万3千円増額し、8億8,737万1千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額等。	全会一致	原案可決
町長提出議案 条例	第66号 議案	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ・議会の議員の期末手当の支給率を0.1月分引上げる。	賛成多数（注）	原案可決
	第67号 議案	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・町長、副町長及び教育長の期末手当の支給率を0.1月分引き上げる。	賛成多数（注）	原案可決
	第68号 議案	伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・人事院の勧告等により、町職員の期末手当及び勤労手当を合わせて、支給率を一般職は0.1月分、再任用職員は0.05月分引上げるとともに、若年層に重点を置きつつ給料表の全部を増額改定するもの。	全会一致	原案可決
補正予算	第69号 議案	令和5年度伊奈町一般会計補正予算（第6号） ・歳入歳出各7,325万7千円を追加し、補正後総額を150億9,127万3千円とする。継続費では、役場庁舎建設事業を追加。歳入では、住民基本台帳システム等のシステム改修に伴う補助金、保育士への奨学金返済支援に伴う補助金の増額等。歳出では、国民健康保険特別会計繰出金は職員数の減による繰出金の減額に対し、職員手当等の見直しに伴う人件費、戸籍等に氏名等のふりがなを記載することに伴う住民基本台帳システム改修、クリーンセンターの2号炉の緊急修繕の増額等。	全会一致	原案可決
	第70号 議案	令和5年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各205万6千円を減額し、補正後総額を各37億8,976万2千円とする。職員数の減による減額。	全会一致	原案可決
	第71号 議案	令和5年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各2億6,300万円を追加し、補正後総額を各30億9,244万6千円とする。居宅介護サービス給付費及び施設介護サービス給付費、介護予防・生活支援サービス費等の増額。	全会一致	原案可決
条例	第72号 議案	伊奈町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法が改正されたことに伴う改正。	全会一致	原案可決
	第73号 議案	伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・国民健康保険事業の健全な運営を図るため、国民健康保険税の所得割額及び被保険者均等割額の見直し、出産被保険者に係る減額措置に関する規定を整備するもの。	賛成多数（注）	原案可決
	第74号 議案	伊奈町重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律が改正されたことに伴う改正。	全会一致	原案可決
契約	第75号 議案	工事請負契約の一部変更について（第1調整池浚渫工事） ・当初予定していた土砂の搬出場所が受入不可となったため、搬出先の変更と仮設工の変更により増額したものの。	全会一致	原案可決
その他	第76号 議案	公の施設の指定管理者の指定について ・令和6年度から令和10年度まで、伊奈町社会福祉協議会を伊奈町ふれあい福祉センターの業務の指定管理者として指定するもの。	全会一致	原案可決
補正予算	第77号 議案	令和5年度伊奈町一般会計補正予算（第7号） ・歳入歳出各3億1,734万7千円を追加し、補正後総額を154億862万円とする。歳入では、財政調整基金から3億1,734万7千円を繰り入れる。歳出では、住民税非課税世帯に給付金を支給、町内事業者応援のためキャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーンの実施、町立小中学生の保護者に給食費の負担軽減を図ることに伴う増額等。	全会一致	原案可決
議員提出議案 意見書	議第4号 議案	ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書 ・政府においては、ガザ地区の危機的現実を直視し、イスラエルによる攻撃の中止と、ハマスによる人質の即時解放を求め、即時停戦、休戦を働きかける外交努力を行うよう強く要望する。	全会一致	原案可決
	議第5号 議案	「健康保険証」廃止の見直しを求める意見書 ・国民の不安、不審が多くある中でマイナナンバー保険証の来年秋の一本化は時期尚早で、現行の「健康保険証」との併用が国民の不安払しょくのために必要となる。健康保険証の廃止の見直しをするよう強く要望する。	賛成少数（注）	原案否決

（注）全会一致でないものは次ページのとおり。全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します。

賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対

議案名	議員名													結果			
	富井 篤弥	仲島 雄大	川内 雅人	木俣美千代	武藤 倫雄	高橋まゆみ	山野 智彦	大野 興一	栗原 恵子	戸張 光枝	藤原 義春	五味 雅美	上野 尚徳		大沢 淳	佐藤 弘一	青木 久男
第66号議案	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	原案可決
第67号議案	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	原案可決
第73号議案	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	-	○	原案可決
議第5号議案	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	○	-	○	原案否決

(注) 議長「-」は議事進行を行うため、賛否表明はしません

討論

第66号議案

議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

反対討論

富井 篤弥

議員の期末手当の支給率を引き上げることについて、①物価高騰等により依然として住民生活が厳しい状況で、町民の理解が得られないこと、②引き上げについて客観的根拠や第三者の評価がないこと、の理由から反対する。

第67号議案

町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

反対討論

富井 篤弥

町長等特別職の期末手当の支給率を引き上げることに、第66号議案と同様の理由

で反対する。なお、人事院勧告は一般職を対象としており、特別職は対象でないため、引き上げの根拠とならないことを付記する。

第73号議案

伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対討論

五味 雅美

国保は、皆保険制度実現のために高齢者・無職者などを抱えている。かつて6割だった国庫負担は2割台にまで減らし、全国知事会などもこの増額を求め続けている。これを放置して保険税に転嫁では滞納が増えるだけだ。

反対討論

富井 篤弥

国保料の引き上げは、①物価高騰等の情勢のなか、加入者の家計を更に圧迫する、②自営業等で起業したい人の夢や希望の芽を摘む一

因となる、③少子化の加速に拍車をかけることに繋がる、といった理由から反対する。

賛成討論

川内 雅人

当議案が国民健康保険加入者の大きな負担になることは承知だが、国民健康保険の維持継続は極めて重要である。速やかに当議案を採択し、加入者が安心して医療を受けられる体制の構築を最優先に考えるべきである。

賛成討論

藤原 義春

団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行により国民健康保険の加入者が減少する中で、県への保険給付費等納付金の原資が不足する。国民健康保険税の改正は、将来にわたり持続的に町民が医療にかかるために必要な改正だ。

意見書

12月定例会最終日に2つの意見書が提出され、そのうち1件が、全会一致で可決されました。

ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書

イスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が激化し、パレスチナ自治区ガザ地区へのイスラエル軍による大規模な攻撃で多数の民間人が犠牲になっている。これは、国際人道法違反の戦争犯罪である。日本政府に対し、ガザ地区の危機的現実を直視し、イスラエルによる攻撃の中止とハマスによる人質の解放を求め、即時停戦、休戦を働きかける外交努力を行うよう強く要望する。

一般質問

そこが
聞きたい



15人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問いただします。12月定例会では、15人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。9ページから16ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館にある会議録でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
9	五味雅美	<ul style="list-style-type: none"> ●私立保育園への支援を ●学校設備の改善を ●農業支援を ●新型コロナワクチン接種の案内に工夫を
9	青木久男	<ul style="list-style-type: none"> ●公契約の適正な履行、特に労働者の賃金水準確保のための公契約条例の進展が進まない中、次善の策を提案する ●交通安全対策の取り組みの現状と課題
10	仲島雄大	<ul style="list-style-type: none"> ●「子ども用車いす」認知度アップの取り組みと現状について ●がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現するために必要とされるアピアランスケアの町の現状と今後の支援について
10	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ●重度障害を有する方の特別支援学校卒業後の進路保障 ●公園をめぐる諸課題 ●郷土の偉人の顕彰活動
11	武藤倫雄	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の勤怠管理について ●農地法等の改正について
11	藤原義春	<ul style="list-style-type: none"> ●原市沼の賑わいづくりと、そこに生息する動植物との共生を ●子供たちの「居場所」の確保を ●南部地域包括支援センターについて
12	栗原恵子	<ul style="list-style-type: none"> ●「夢のあるまち・伊奈をつくる」について ●自主財源確保について
12	富井篤弥	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して保育施設に入園できる環境整備を ●子どもの生活や可能性を守るために、町ができる支援や取り組みについて ●将来を見据えつつ、質の高い充実した図書館運営を
13	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> ●伊奈町・消防救急の上尾市への委託は順調に進み、広域化はしっかりと機能しているか ●伊奈町の住所から「郡」を省略、無くすことはできないか
13	高橋まゆみ	<ul style="list-style-type: none"> ●プール施設について ●上尾伊奈ごみ広域処理施設建設予定地を含む周辺地域の将来展望について ●動物の多頭飼育について
14	木俣美千代	<ul style="list-style-type: none"> ●若い世代に正しい性の知識を ●防犯対策強化で安心な街へ ●家庭内の高齢者虐待を防ぐ
14	大野興一	<ul style="list-style-type: none"> ●インボイス実施後の町への影響について ●住民に利用されやすい新伊奈病院の環境づくりについて ●不登校・いじめの現状について
15	川内雅人	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の維持・発展における町の役割 ●町全体として、食と緑を守り育てる
15	山野智彦	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校・いじめの動向確認と対策、特にいじめ加害者側への対応等について ●官民連携において、「官の決定権問題」と言われる課題
16	戸張光枝	<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費助成制度に関して ●買い物弱者対策等のために事業者と包括連携協定を ●交通弱者対策強化を ●第50回伊奈町美術展覧会に向けて

私立保育園は町の委託事業、
運営に支援を



ごみ まさみ
五味 雅美 議員

問 7割の保育士が重大事故につながりかねないことを見たり経験したりしたという調査もある。運営費の基となる保育士の配置基準は、4、5歳児の場合一人で30人だが、アメリカ、イギリス、フラ

ンスなどは10人前後と、先進国でも低い水準だ。そのため保育士の給与は全産業平均より低く、保育士が確保できない、人手不足で多忙だ、長く働けない、の悪循環になっている。保育士が安心して働けて保護



ひび割れが目立つ学校プール



者が安心して預けられることが必要だ。町の私立園の状況は。

答 平均勤続年数は3年9か月、離職率10・7%で公立より高い。非正規は平均4割だが、多い所では6割だ。

問 保育の実施責任は町にある。支援を。

答 保育士を手厚くする県の補助事業等の利用を促進する。保育士の奨学金の返済を支援する制度を設けた。

学校施設の改善を

問 古い校舎では修復を要するものが多いが、修繕済や検討・協議中のものがある。

農業・農家へ支援を

問 猛暑、水不足、物価高騰で厳しい状況だが、支援は。

答 県が伊奈町に特別災害の指定をしたので、補助を行なう。

児童生徒の交通安全意識の継続を願って



あおき ひさお
青木 久男 議員

問 交通安全対策では学校内の指導や地域の方の協力が大きく功を奏しているが、校内での指導充実のための課題は何か。

答 課題の一つに児童生徒の交通安全意識を

継続していくことがあげられる。

交通安全看板

問 課題克服の一つとして、校門に交通安全看板を設置したらどうか。

答 児童生徒が、毎日



の登下校時に必ず目にするような場所に看板等を設置することは児童生徒の交通安全の意識の向上につながると考えている。

今後、看板に限らず各学校で効果上がる方法、場所、費用等についてそれぞれ考えていただくよう伝えていく。

かるたの導入

問 もう一点は、自動車会社で作った「交通安全かるた」があるが、それを利用し、教育活動に取り組むという方策もあるがどうか。

答 楽しみながら交通安全が身につく活動は有意義だ。

各学校で独自に安全教育を実施する中で、かるたの取組みを例として各学校に情報提供していく。

できるニャンと楽しく覚えよう！
デジタル交通安全かるた



小学校の教職員に無償で提供される
交通安全デジタル教材
(Hondaホームページより)

「子供用車いす」認知度アップの
取り組みについて



なかじま ゆうた
仲島雄大 議員

問 身体が不自由な子供たちに対する配慮不足と考える点の課題は、社会全体で障がいに対する理解が深まれば、障がいのある方が、どんなことで困っているのか、何をすれば良いのか、何を求めている

のか「気づく」ことができるようになる。気づいていただくための障がいに対する理解不足、周知不足・啓発不足が課題である。



国土交通省作成啓発用ポスター

答 町内関係各所へのポスター掲示については、町商工会や医師会等の各団体と相談する。**アピアランスケアに対する補助について**

問 他市町でアピアランスケアに対する補助を実施している。導入当初時の予算は高額である必要はないのが明確である。予算額や必要性を鑑み、導入予定は。

答 他市町の取り組み内容を精査し、また、県立がんセンターの「がん相談支援センター」から助言をいただきながら、支援の内容等について整理したうえで関係機関や関係各課と相談する。

特別支援学校卒業後の進路保障



おおさわ じゅん
大沢淳 議員

問 町内や近隣市での受け入れ体制は。

答 入所施設は待機者が多数いる。グループホームは増加しているが、重度の障害を有する方の受け入れ体制が整っていない。生活介護事業所は増加して

り空きもある。

問 卒業生の見込みは。
答 現在中等部に17名、高等部に25名在学している。

公園をめぐる諸課題

問 上新田公園のすべり台の改修を。
答 人気のある遊具



伊奈忠次公の新田開発

だった。電話や窓口で再使用を望む声をいただいているので、改修に向け検討する。

問 氷川児童公園にトイレの設置を。
答 新設が必要と認識している。施設の利用状況、要望等も勘案して検討する。

問 郷土の偉人の顕彰活動
答 郷土の偉人は、芸術面では「蔣絵」の技術保持者として重要無形文化財に認定された「田口善国氏」や世界中で評価を受けている盆栽作家の「木村正彦氏」が挙げられる。

問 「田口善国氏」回顧展開催の実績は。
答 平成12年から27年まで9回の展示を行った。

問 文化祭で開催を。
答 運搬や展示の方法も含め検討したい。

時代の変化に対応せよ



武藤 倫雄 議員

勤怠管理 今でも紙で

出退勤の管理は。

毎朝の出勤時に各自が出勤簿に押印する。

時間外勤務は。

時間外勤務命令簿により承認または指示し、時間数も管理する。

有給休暇の管理は。

年次有給休暇簿に記入し、所属長の承認を受け、各自が管理。

給与計算の工程は。

毎月、各課で集計したものを経済課で確認し、給与システムに勤務時間を入力する。

勤怠管理システムを



職員の能力も手間も時間も町民のために使って欲しい

職員の人件費と能力の損失だ。勤怠管理システムを導入しては。

研究する。

災害時の在庁職員

の把握や過重労働の早期発見、人件費の削減、生産性の向上など町民の利益ともなる。今一度早期の導入を求める。

業務の生産性向上のため研究を進める。

農業の生産性向上のため研究を進める。

農地法改正で下限面積要件が廃止され農業に参入しやすくなる。今後の取組はどうか。

地域計画を策定し、地域内外から農地の受け手を確保して農地中間管理と農地の集約化等を進めていく。遊休農地拡大の懸念にもプラスに働くと考ええる。

既存農家と参入者との交流が重要では。

必要だ。研究する。

賑わいづくりと動植物との共生を



藤原 義春 議員

野鳥、植物、昆虫が

原市沼周辺に多くの野鳥、植物、昆虫が生息していることを認識しているか。

認識している。

認識している。

この地域のエコロ

ジカルネットワークは、大丈夫か。

埼玉県の場合は、上の池東側をビオトープ区域とすることを検討している。

エコロジカルネット

ワーク

この地域のエコロ

ジカルネットワークは、大丈夫か。

調整池の貯水機能を保ちつつ、自然と調和した空間づくりが必要と考える。

参考となる事例は。

河川敷への商業施設誘致（カフェ）による活性化の事例や、張り出しデッキ・親水テラス・ステージなど、訪れた人の憩いの親水空間となる事例がある。

また、バーベキュー場、ペットと一緒に泊まれるキャンプ場の事例。

不登校の生徒

令和4年度の不登校児童生徒数は。

小学校35名、中学校108名。

不登校の児童生徒はどんな選択肢を。

教室には入れない児童生徒は保健室や相談室へ登校。登校できない場合、教育センターで学習。



伊奈氏屋敷跡の頭殿権現と原市沼周辺

「夢のある街・伊奈をつくる」



くりばらけいこ
栗原 恵子 議員

問 今後どのように伊奈町を発展させたいか。
答 少子高齢化に向けて持続可能なまちづくりをすることが大変重要である。「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に参画し、埼玉県からの支援及び民間



「日本一住んでみたいまち」をめざす
(埼玉版スーパーシティプロジェクト)

企業等と連携を図り、「伊奈町版スーパー・シティプロジェクト」を積極的に進め、持続可能で災害に強い、誰もが住んでみたいまちづくりを推進していく。次期町長選挙について町長の考えは。

答 大輪の花を咲かせるまで全身全霊をささげたい、引き続き町政を担わせて頂きたい。

自主財源確保について

問 命名権の進捗状況

答 公共施設に名称を付与する権利、命名権について導入していませんので今後、導入を検討していく。

問 山形県西川町のように公園等の命名権を NFT 化オークション販売に取り組みのほどか。

答 国では、NFT の信頼性確保やルールの明確化などについて、現時点では、制度や規制が整備されていない状況。今後の検討や議論が必要であると認識している。日々進化する新たなデジタル技術を注視し、新たな財源確保として研究する。

保育園入園に関する情報公開を



とみい あつや
富井 篤弥 議員

問 保育施設入所にかかわる各施設の利用決定者の最低点数を町HPで公開する考えは。

答 HPで公開する考えは。公開に向けて対応していく。

問 保育施設の最新の空き情報について、町HPに公開する考えは。

答 公開している自治体を参考に、来年度より対応していく。

問 保育施設の申込希望者数や申込倍率を町



伊奈町立図書館
町役場新庁舎に複合化されることにより、
移転が予定されている

問 令和6年度は待機児童を解消できそうか。
答 全体の枠でとらえると余裕があるが、2〜4歳児で受入枠を超過している状況である。将来を見据えつつ、充実した図書館運営を

問 上尾市でも図書館の老朽化問題があるが、伊奈町と上尾市で図書館を広域化することは、町の研究、検討対象となったことはあるか。

答 広域化の研究や検討を行ったことはない。

問 伊奈町、上尾市の双方の図書館問題の解決のために、広域行政制度を生かしてみたい。

答 広域図書館の導入について、今後、調査や研究をしていく。

問 町立図書館の町役場新庁舎移転後の跡地をどう活用するのか。

答 現時点では未定。

問 町立図書館の町役場新庁舎移転後の跡地をどう活用するのか。

上尾市への消防救急委託が
町民を守り続ける



うえの なおのり
上野 尚徳 議員



動物をむやみに増やさないと責任を



たかはし
高橋 まゆみ 議員



問 消防救急・広域化のメリットは感じたか。
答 救急・指令システムで市町の域を超えた直近編成を行い9台の救急車を効率よく運用。到着時間短縮が図れた。
問 消防・以前は町の火災は4台で対応していたが7台以上で対応し、早期に火災鎮圧できた。
委託による町の費用負担には注視を
問 町も負担する按分対象の修繕工事は。
答 上分署の外壁・防水改修、原市分署の空調設備改修、伊奈分

署の雨漏り修繕ほか。
問 按分する予算額の合計と町負担額は。
答 予算額・1億3061万円。町の負担額・2242万円。
問 そのうち、伊奈分署に関する工事額は。
答 31万円。
北部・消防施設
問 建設計画は予定どおりに進んでいるか。
答 進んでいる。
町民アンケートで「郡の必要性の検討を」
問 郡の機能は。
答 住所表記など以外の機能は停止している。
問 法律や政令等には。
答 具体的には示されていない。
問 廃止に取り組むか。
答 現状は難しい。解釈変更などで可能となった場合は町民から意見を聞き、なくす声が大きい場合は取り組む。



「伊奈町消防署」の「町への思い」を引き継ぐ
「上尾市消防本部伊奈分署」

問 多頭飼育崩壊の発生事例について説明を。
答 持ち帰った猫を育てていたが増え続けてしまい適正な飼育が困難な状況となった家があった。6月に情報提供があった。公益財団法
問 変わりゆく水泳授業
答 町立小中学校プー

人のどうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業を活用し、動物愛護団体や動物病院の協力を得ながら35頭の猫に不妊手術を実施した。
問 近隣市の取り組みはどうか。
答 民間スイミングスクールによる水泳授業や、中学校のプール施設を廃止し水泳授業を座学にしている。
ごみ広域処理施設建設予定地周辺の将来展望
問 都市計画道路を挟む南側の計画は。
答 現在の総合振興計画では街路整備推進エリア、都市計画マスタープランでは沿道活用ゾーンに位置付けられている。現時点で町の事業予定はない。



多頭飼育崩壊の現場で発見・救助された、へその緒が絡み合う生後間もない5匹の仔猫

若い世代に正しい性の知識を



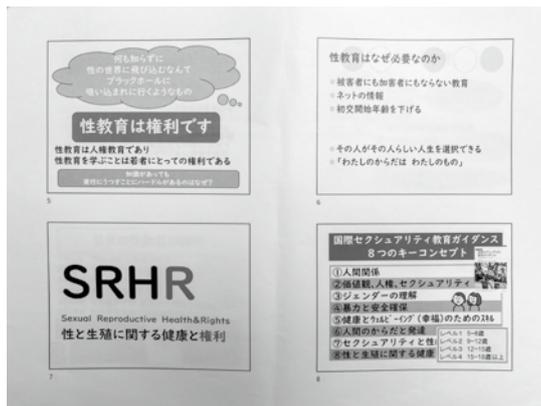
きまた みちよ
木俣美千代 議員

問 外部講師による保護者向けの性教育をテーマとした子育て講演会の実施を。

答 健全な児童生徒の育成の点からも、有意義なことと捉えている。

問 学校の実態等を把握した上で、PTAなどの理解を図った後に、年間指導計画に位置付けて、実施することだと考えている。

問 防犯対策強化で安心な街へ
防犯カメラ内蔵自



埼玉医科大学産婦人科医、高橋幸子先生の講演資料

問 動販売機の設置は、効果、費用、課題等について情報収集したい。

答 防犯対策品の購入や設置の助成制度を導入することは、

問 国や県の補助制度の動向および近隣市等の導入状況を注視しながら研究したい。

問 家庭内の高齢者虐待を防ぐ
相談件数と通報件数は、

答 合計で令和3年度は8件、令和4年度は11件、令和5年度は11月時点で4件である。

問 防ぐための町の課題は、

答 深刻な事態になる前に、早期発見、早期対応に繋げることが課題である。

インボイスの影響は



おおの こういち
大野興一 議員

問 インボイス（適格請求書）の申請は、

答 国税庁の公表は、伊奈町法人の適格請求書発行事業者登録件数は616件となっている。

問 農業、中小事業者、申請書の書き方がわか

問 フリーランスは各何件か。
答 国税庁で聞いたが把握していない。
問 インボイスについて事業者の相談内容は、
答 制度がわからない、申請書の書き方がわか

請求書への記載(6項目)

インボイス(適格請求書)

日付	品名	金額
11/1	魚	5,000円
11/1	豚肉	10,000円
11/2	タオルセット	2,000円
...		
合計	120,000円	消費税 11,200円
8%対象	40,000円	消費税 3,200円
10%対象	80,000円	消費税 8,000円

① インボイス発行事業者の氏名または名称および登録番号
② 取引年月日 ③ 取引内容(軽減税率の対象品目である旨)
④ 税率ごとに区分して合計した対価の額(税抜きまたは税込)
⑤ および適用税率 ⑥ 税率ごとに区分した消費税額等
⑦ 書類の交付を受ける事業者の氏名または名称

インボイス(適格請求書)の煩雑な事務

問 町の水道事業・下水道事業会計の影響は、
答 料金プログラムの変更で、検針票及び納入通知書への適格請求者登録番号と消費税率の記載を追加。支払いは、請求書の記載内容の確認、適格者登録番号が登録されているか、要件を満たしているか、確認し請求書を作る。

問 課税事業者、免税事業者ともに従来の取引を変更することなく継続する。
問 教育センターに専任の所長と専門職の常勤化ができないか。
答 課題が複雑化し、件数も増加、勤務を増加している。

問 教育センターに専任の所長と専門職の常勤化ができないか。
答 課題が複雑化し、件数も増加、勤務を増加している。

町の緑と農の発展のために



かわうち まさと
川内 雅人 議員

農業の維持・発展における町の役割

問 新規就農者への町の支援体制は。

答 ここ10年で6名が新規就農し、奨励金支給、農地の斡旋、町のイベントでブース設置、日本薬科大学と漢方を

取り入れたジヤムを開発した。

問 6次産業化に對しての町の考えは。

答 女性農業者による惣菜などの販売、加工品販売、農家レストランなどがある。同様の取組をサポート



町の農と緑を守り発展させるには、私たち町民の協力が必須である

トし、また地域特性を生かした6次産業化を推進する。

問 観光農園の開設・支援はどうか。

答 興味を持つ生産者もあり、県や農協と連携し適切な支援を行う町として、**食と緑を守り育てる**

問 農家と町民の接点には何かがあるか。

答 農業体験、農福イベント、レストラン、野菜カフェなどがある。

問 町民の農への参加へのサポートは。

答 援農ボランティアや、農地取得下限面積の廃止に伴う多様な形態の農業参入をサポートする。

問 コミュニティコンポストの導入は。

答 興味を持つ農家もいるので、検討する。

いじめ・不登校等の改善、官民連携



やまの ともひこ
山野 智彦 議員

いじめ・不登校改善に大人が果たすべきこと

問 町内の動向は。

答 いじめは減少傾向ではあるが小学校低学年では増加。不登校は中学校で増加の傾向。全国では、いじめ・不登校とも過去最多。

社会に欠けているものがあるのでは。

答 子どもたちに対し教職員は寄り添い、良いところを褒める教育を展開している。一方、大人社会の悪口やうそ等が子ども社会に負の影響をもたらしている

ことに、大人は責任を持つ必要がある。

問 「人を愛すること」「反省すること」、「共によりよい社会をつくるために協力し合わなければならないこと」等の徳目を、教職員も我々大人も示し、教えることが必要では。

答 そのとおりと考える。「道徳」の時間を要に道徳的価値の理解や「考え、議論する道徳」に取組んでいる。

問 民間の知恵を生かす官だけで決めると高コストや不効率が起きうる事の回避策は。

答 道路工事では、契約後VE方式等を参考に事業者の提案を聞いていく。新庁舎建設では、「共創対話」、「技術対話」、「VE提案」を通し事業者の提案を取り入れていく予定だ。



『子どもが育つ魔法の言葉』PHP研究所 刊行
ドロシー・ロー・ノルト著 レイチャル・ハリス著 石井千春訳
どうしたら人を愛するよい子に育てられるかへのヒントとして、答弁で引用された書

買い物弱者・交通弱者対策強化を



とばりみつえ
戸張 光枝 議員

問 日常の買い物に困っている高齢者等の支援を協力事業者と包括連携協定締結を。検討する。

答 ハンドル型電動車いす購入等に際しての補助は、研究する。

問 重度障害のある方への移動支援、タクシー券の使用枚数の緩和を。

答 月3枚では足りないとの声がある対応は、県に要望を届ける。

問 自動車運転免許証自主返納者へタクシー利用券の交付を。



子供の人数分増える荷物、赤ちゃんを抱っこして、幼児の手を引いての移動は大変です。タクシーの補助券は最良の子育て支援となります

問 循環バスを双方向運行して欲しいとの声が多いが費用対効果は。

答 令和5年度の町内循環バス運行業務委託料は3千593万1千円。双方向運転の場合、約7千万円程度。その他初期費用で約600万円程度。費用対効果を見込むことは難しい。

問 外出の手助けにタクシー利用補助は。

答 福祉部門と連携し調査・研究する。

問 妊産婦・産後の乳児との移動支援にタクシー利用料金補助を。

答 県は乳幼児医療費助成制度を拡充する。予算枠で充当は、検討する。

問 美術家協会存続のため町ができることは。

答 協会の方々と共に様々な角度から議論を重ねていく。

第17回・第18回 新庁舎建設特別委員会

11月2日
11月29日

12月議会で関連予算が可決後、公募手続きに入ります。

第17回委員会（11月2日）

執行部から出された新庁舎建設に係る要求水準書（案）が審議されました。

委員からの意見（抜粋）

セキュリティ監視カメラのデータ保存が2週間ほどとなっているが、もっと長くすべきだ。

労務管理に配慮した関係法令を追加すべきだ。

経費削減ということで、設備や備品を安価のものにしたため、すぐ壊れてしまうというようなことがないような形でぜひお願いしたい。

町からの答弁

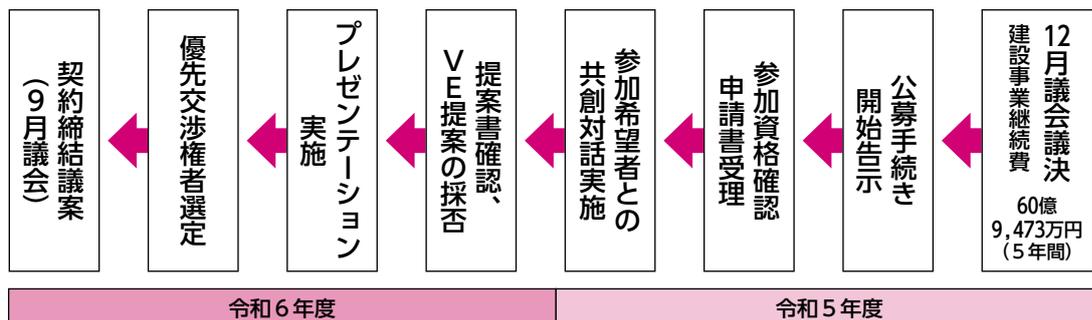
出された意見は16日に開かれる第2回公募型選定委員会で検討していただく。

第18回委員会（12月議会初日）

前回の水準書（案）審議で委員から出された意見について、労基法の追加と録画保存日数を2週間以上とする修正がなされたことが報告されました。

また、12月議会最終日に庁舎建設の費用の今後5年分の経費を盛り込んだ補正予算が成立され次第、速やかに公募手続きを開始することや契約までの今後の流れが明らかになりました。

新庁舎建設、契約までの流れ



常任委員会視察報告

～先進地の事例に学ぶ～

文教民生常任委員会

●視察地 群馬県渋川市
●視察日 令和5年10月5日

地域の助け合い活動

渋川市の人口は、約7万3600人。高齢率は、約36%。平成27年より渋川市地域助け合い活動が開始されており、住民主体による助け合い活動の地域づくりを視察しました。活動メンバーは自治会、民生委員、地縁組織、ボランティア、NPO、社会福祉法人等です。上下関係ではなく、相互に連携・協議する関係です。平成30年4月までに、中学校区9か所全てに協議体設置が実現しました。



渋川市地域助け合い活動について学ぶ

例えば、小野上地区では、通院送迎サービス・買い物付き添い支援・粗大ごみ搬出支援、北橘地区では、樹木伐採や清掃活動支援などがなされています。高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができることを事業目的とし、各協議体の設置により支援体制の充実強化が図られています。安心して住み続けられる伊奈町実現のため、今回の所管事務調査は有効でした。

総務建設産業常任委員会

●視察地 新潟県妙高市
●視察日 令和5年10月16日

空き家対策

妙高市は戸隠妙高国立公園をエリアに持つスキーとライチョウで有名な町ですが近年は人口が減少しています。視察地へ向かう途中、妙高市関川にある「山の家カフェ」で昼食をとりました。このカフェ自体も空き家対策でリノベーションしたもので、実地研修がここから始まりました。このカフェは、東京に住む工務店主が移住を決意して経営しています。広大な敷地に空き家を活用したゲスト



空き家を活用したカフェと住宅を見学

ハウスがあります。新しい経営視点と町の人口増対策がマッチングした事業です。妙高市役所では、地域共生課の課長から説明を受けました。主な施策として妙高ふるさと暮らし応援事業があげられ、定住促進通学費貸与制度、ふるさとワーキングホリデーの実施、移住者交流会の開催等があります。移住・定住に町ぐるみで取り組んでいる姿が感動的でした。

第11回 議会報告会

開催日

令和5年11月18日(土)

第1部 町議会の概要、過去1年間の主な報告など

第2部 グループに分かれて広聴会

希望者 議場見学

昨年に引き続き、議会報告会を開催することができました。
 今回は去年以上に多くの方にご参加いただきました。議会の報告を行なったのち、4つのグループに分かれ1時間30分ほど広聴会を行いました。寄せられたご意見はどれも貴重で、たいへん参考になりました。今後のまちづくりに生かしてまいります。

第1部

最初に、五味議会運営委員長から町議会の概要について説明しました。



続いて、上野副議長から過去1年間の主な議題などを報告しました。



第2部

4グループに分かれてご要望と質問をいただきました。

議会は執行機関でないため、議会以外のこととを直接お答えすることができないので、後日、町にご意見等をまとめ提出しました。
 いただいたご意見は議会活動に生かしていきます。以下その一部を抜粋して掲載します。

議会・議員関連

◇議員が区や自治会で、話を聞いてほしい。
 ↓自治会に参加することには調整が必要ですが地域の方との対話の重要性は認識しています。

◇議会だよりの表紙に目次を記載してほしい。
 ↓読みやすい議会だより作成のため、検討・努力していきます。

◇ガザ・イスラエル情勢に対して、特別決議をするのはどうか。
 ↓12月議会の最終日に意見書を上程し、全会一致で可決されました。(6、7ページ参照)

選挙関連

◇若年層の投票率向上のために、町内の高校や大学での啓もう活動を行ってはどうか。

町政全般

◇新庁舎では、ワンストップでサービス提供ができる仕組みや、店舗やキッズスペースを作って欲しい。

◇町外の職員が多いが、災害の際、災害本部を設置するのに支障はないか。

◇町債の返還は、子供世代に借金を押し付けることであることを忘れないでほしい。



施設や設備

◇温水プールをつくらせて欲しい。

◇伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)の体育館にエアコンを設置してほしい。

◇スポーツ活動のため、学校グラウンドの利用状況を公開してほしい。

◇町制記念公園の第一・第二球場の観覧席に屋根を設けてほしい。

◇新クリーンセンターとその周辺の道路や環境整備の進捗状況はどうなっているか。



◇第1調整池を親水公園にする計画はないか。

住環境

◇空き家・空地の雑草対策を進めてほしい。

◇原市沼調節池整備の進捗状況は。また整備には、自然保護に留意してほしい。

◇町の木「モクセイ」にも光を当ててほしい。



交通関連

◇いなまの利用者は多くないように見受けられるが収支はどうか。

◇いなまの双方向化は検討できないか。

◇オンデマンドバスは検討できないか。

◇分離信号機や音響信号機、点字ブロックの設置を充実させてほしい。

◇生活道路での速度違反や一時停止無視が目立つが、対策できないか。

教育関連

◇不登校児童が増えているが、共働き世帯が増えて、子供が0〜3歳のときに親と一緒にいられないのも原因の一つではないか。

◇先生が教科に忙しく、子供と向き合う時間が確保できていないのではないか。

◇学校によって運動会の種目に違いがあるが、統一したほうが良いのではないか。

◇不登校児童・生徒を受け入れる施設も増えてきているが、社会生活の一步である学校生活を送らせるために、学校自体の考え方を变えていく必要があるのではないか。



スポーツフェスティバル

◇今回は7区が不参加だったが、その理由は把握しているか。

◇参加者を増やすため、有名スポーツ選手を招聘するなど、目玉企画を作るのはどうか。

◇今回、けが人が出たようだが、救護所には看護師はいるか。

その他

◇母子手帳に梅毒や低体重児の記載欄を設けるべきでは。

◇高齢化が進んでいるが、各区の老人会の加入者は減少しているところが多い。運営・加入促進を町に支援してほしい。



議会を傍聴しませんか？

ネットでらくらく！
ネット視聴

現地でリアル！
議場での傍聴

議場までの移動が難しい方は、ご自宅などでお気軽にご覧いただけます。時間がない方は、録画配信時には、2倍速での視聴も可能！



議場で傍聴いただけます。詳細は伊奈町議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



日南市議会、来庁

令和5年11月9日 宮崎県日南市議会の総務市民常任委員会の方が行政視察に来庁されました。ご質問があり、議長と担当の執行部が対応しました。

「人口増加の取り組みと今後の人口減少対策について」を主題に、都市開発、交通網、子育て世代に対する支援、移住定住された方への助成金などについて、



議会クイズ

クロスワードクイズ
第55弾です。



応募方法

★はがきに答え

(例) (A)(B)(C)(D)(E)(F)(G)

住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、

〒362-8517

伊奈町中央四丁目355番地

までお送りください。

なお、本誌へのご意見やご感想などありましたら、あわせてお寄せください。

☆締切 2月29日(当日消印まで有効)

正解者の中から抽選



▲ローズちゃんの「エコ手袋」※色は選べません

前回の答えと当選者
答えは「ネットハイシン」でした。応募総数18名。正解者17名のうち10名の方に「エコ手袋」をお送りします。

で10名の方にエコ手袋を差し上げます。
☆正解と当選者の発表は次号の議会だよりに掲載します。

- タテのカギ
- 1 波のうねるような動き
 - 2 緊張している時に飲み込みます
 - 3 冬を代表する植物
 - 4 いいかげんなうわさ話
 - 7 我が町
 - 8 ○○を直す
- ヨコのカギ
- 1 元日にのぼる太陽
 - 5 お金持ちが集まる?
 - 6 ○○があかない

- 7 参加することに○○がある
 - 9 問題を一時○○上げる
 - 10 趣味の方もいます。沖○○。へらぶな○○
- 問題**
A B C D E F Gの順に並べた言葉は何でしょうか。
- 答えのヒント**
成人の日の伊奈町のイベント。

当選者

宗村亜由美(内宿台)、林山充(西小針)、田口美智子(内宿台)、伊藤由紀子(大針)、土生清文(学園)、山口美津子(小室)、宮倉律子(西小針)、大木陽子(西小針)、山口孝子(小室)、永倉三千代(中央)

— 順不同・敬称略 —

伊奈町中央四丁目355番地
議会広報委員会行

切手 63円

答え(例) (A)(B)(C)(D)(E)(F)(G)

郵便番号・住所

氏名・年齢

電話番号

ご意見・ご感想など(あれば)

(うら)

(おもて)

表紙の写真ってなに?

冬の朝、役場3階から富士山がきれいに見えます。

山頂までの直線距離は約108km。ビルで隠れている部分には、伊奈忠順が復興に身を挺した宝永の大噴火(1707年)として知られる宝永山があります。

また、地図上で役場と富士山頂を結ぶ45km付近に伊奈城跡(あきる野市)を見つけました。不思議なご縁ですね。

計測：地理院地図

読者の声

— 一部掲載 —

◇表紙のコスモスがとてもきれいです。(30代)

◇一般質問そこが聞きたい興味あり。(70代)

◇住みよい町づくりに期待します。(60代)

◇議員の質問事項を知ること、現在どんな

編集後記

今号は盛沢山の内容となりましたが、本年も議会だよりを宜しくお願いいたします。

さて世界では戦乱や混乱が続いています。少し目を宇宙に向けてみます。地球は太陽の周りを秒速30kmで回っています。太陽は秒速230kmで天の川銀河を回り、天の川銀河は秒速600kmでアンドロメダ銀河の方に移動しています。そして両銀河を含む5億光年の範囲で、ラニアケア超

銀河団が形成されているそうです。

大宇宙から見れば砂粒よりも小さな地球ですが、宇宙の創造者は「憎しみを捨てて愛し合え」と言っているのではないのでしょうか。今年、世界がより良い方向に進みますように。(山野智彦)



議会広報委員会

- 委員長 青木 久男
副委員長 高橋まゆみ
委員 富井 篤弥
委員 仲島 雄大
委員 川内 雅人
委員 木俣美千代
委員 山野 智彦
委員 大野 興一